

## 医師研修部会の開催状況について

### 1. 開催時期

令和6年2月

### 2. 開催方法

書面審議

### 3. 審議内容

令和7年度に研修を開始する臨床研修医の募集定員の設定について

#### (1) 概要

- ・島根県の定員上限は91人(国から示されたもの 別紙参照)
- ・県内の各臨床研修病院への定員配分は、医師法改正により、令和3年度募集定員から国が定める定員上限の範囲内で各都道府県が地域医療対策協議会(島根県は地域医療支援会議医師研修部会)の審議を経て設定
- ・各臨床研修病院が希望する定員合計は77人であり、県の定員上限91人の範囲内であることから、希望どおり配分することとしたい(以下定員数の設定の表を参照)
- ・なお、令和6年度と比較した増減状況は以下のとおり(以下定員数の設定の表参照)  
松江生協病院 ▲1(病院の指導体制に応じた変更)

#### (2) 定員数の設定

(単位:人)

病院名	所在市区町村	医師少数区域等	病院が希望する募集定員	定員数の算定方法 (詳細は資料1の3. 定員数の算定方法を参照)							R7年度募集定員	(参考) R6年度募集定員	
				R4年度受入数	R5年度受入数	R6年度受入予定数 (R6年1月時点)	①～③の最大値	医師派遣加算	基本の定員数	小児科・産科プログラム加算			県の調整分
				①	②	③	④	⑤	⑥=④+⑤	⑦			⑧
松江市立病院	松江市		8	8	3	8	8		8		8	8	
松江赤十字病院	松江市		10	10	9	10	10		10		10	10	
松江生協病院	松江市		3	2	3	3	3		3		3	4	
島根県立中央病院	出雲市		※1 15	15	10	15	15		15		※1 15	※1 15	
島根大学医学部附属病院	出雲市		20	7	12	11	12	4	16	4	※2 20	20	
島根大学医学部附属病院 (小児科・産科研修プログラム)			4							4	※2 4	4	
大田市立病院	大田市	○	4	4	4	2	4		4		4	4	
浜田医療センター	浜田市	○	7	6	7	7	7		7		7	7	
益田赤十字病院	益田市	○	6	6	5	6	6		6		6	6	
島根県 合計			77	58	53	62	65	4	69	8	77	78	

※1 自治医科大学卒業医師分(R6年度:3人 R7年度:3人)を含む

※2 R7年度の島根大学医学部附属病院の募集定員の合計は24人

### 4. 部会での審議結果

委員(18名)へ意見照会したところ、特に意見はなかったため、(2)定員数の設定通りとする。

# 令和7年度の各都道府県の募集定員上限の算出方法

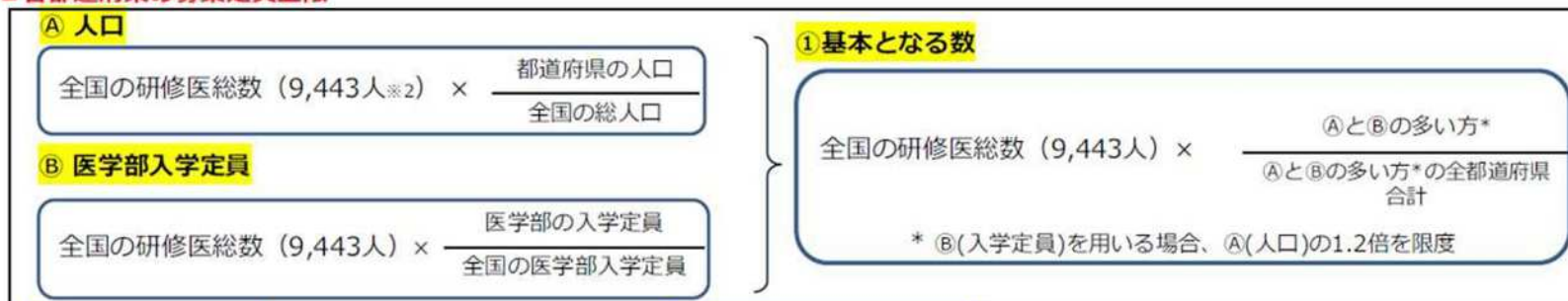
別紙

## ■ 全国の募集定員上限（11,067人）

研修希望者数（推計）（10,540人）× 1.05 ※1

※1 令和7年度までに段階的に1.05まで縮小

## ■ 各都道府県の募集定員上限



※2 研修医総数（推計）は、研修希望者数（推計）に、過去3年間の研修希望者数に対する採用人数の割合を乗じた数

### + ②地域枠による加算

地域枠入学者数 × 1.05 ※1

### + ③地理的条件等による加算

- (1)100km当たり医師数※3
- (2)離島の人口※4
- (3)医師少数区域の人口※5
- (4)都道府県間の医師偏在状況※6

※3 100km当たりの医師数が、全国平均よりも少ない都道府県は①×0.07、30未満の都道府県は①×0.1を加算  
 ※4 ①× 離島人口×3 / 当該都道府県の人口 を加算  
 ※5 ③(2)までを配分した後の未配分の数×「当該都道府県の医師少数区域の人口/全国の総人口」を加算  
 ※6 ③(3)までを配分した後の未配分の数、都道府県間の医師偏在状況（医師偏在指数）に応じて按分した数を加算

### + ④激変緩和措置(直近の採用人数保障)

- ・ ①～③の合計（「仮上限」）が、直近（令和5年度）の採用人数よりも少ない都道府県は、令和5年度の採用人数と「令和6年度の募集定員上限×0.99」のうち少ない方の人数を当該都道府県の募集定員上限とする
- ・ 上記により追加する定員は、他の都道府県の「仮上限」から  $\frac{\text{各都道府県の（「仮上限」 - 令和5年度採用数）}}{\text{各都道府県の（「仮上限」 - 令和5年度採用数）の合計}}$  に応じて定員を削減して捻出
- ただし、「令和6年度の募集定員上限を全て病院に配分した都道府県」は、「仮上限」からの定員削減の対象外とする

### + ⑤募集定員上限の減少率が、過去3年間の全国の募集定員上限の減少率のうち最大のものを上回る場合の加算 ※上記11,067人に別途加算するもの

- ・ ①～④の結果、令和6年度の募集定員上限からの減少率が3.2%（過去3年間の全国の募集定員上限の減少率のうち最大のもの）を上回る都道府県（令和6年度の募集定員上限を全て病院に配分しており、かつ、④による加算の対象ではない都道府県に限る）に対して、令和6年度の募集定員上限からの減少率が3.2%となるまで加算

（注）令和7年度からは、各病院の募集定員を2人以上とするための加算は、当該都道府県の募集定員上限の範囲内で行うよう改めることとする。

# 都道府県別臨床研修定員上限について

島根県作成

島 根 県

募集定員配分可能数 = 91

※医師臨床研修部会にて了承された配分可能数

参考：内訳

①基本となる数（人口又は医学部入学定員に応じた配分）	( 56 )
②地域枠（奨学金貸与者数に基づく配分）	( 28 )
③地理的条件等による加算（面積あたり医師数、離島人口、医師偏在状況等に応じた配分）	( 11 )
うち、医師少数区域の人口によって加算された配分	( 0 )
④激変緩和（前年度の採用保障のための調整※）	( ▲4 )
※ ①～③の合計が前年度実績を下回った都道府県に対し、前年度実績を確保するための増減	